

# 上京 史蹟と文化

美を創る

上京の史蹟



文化講演会

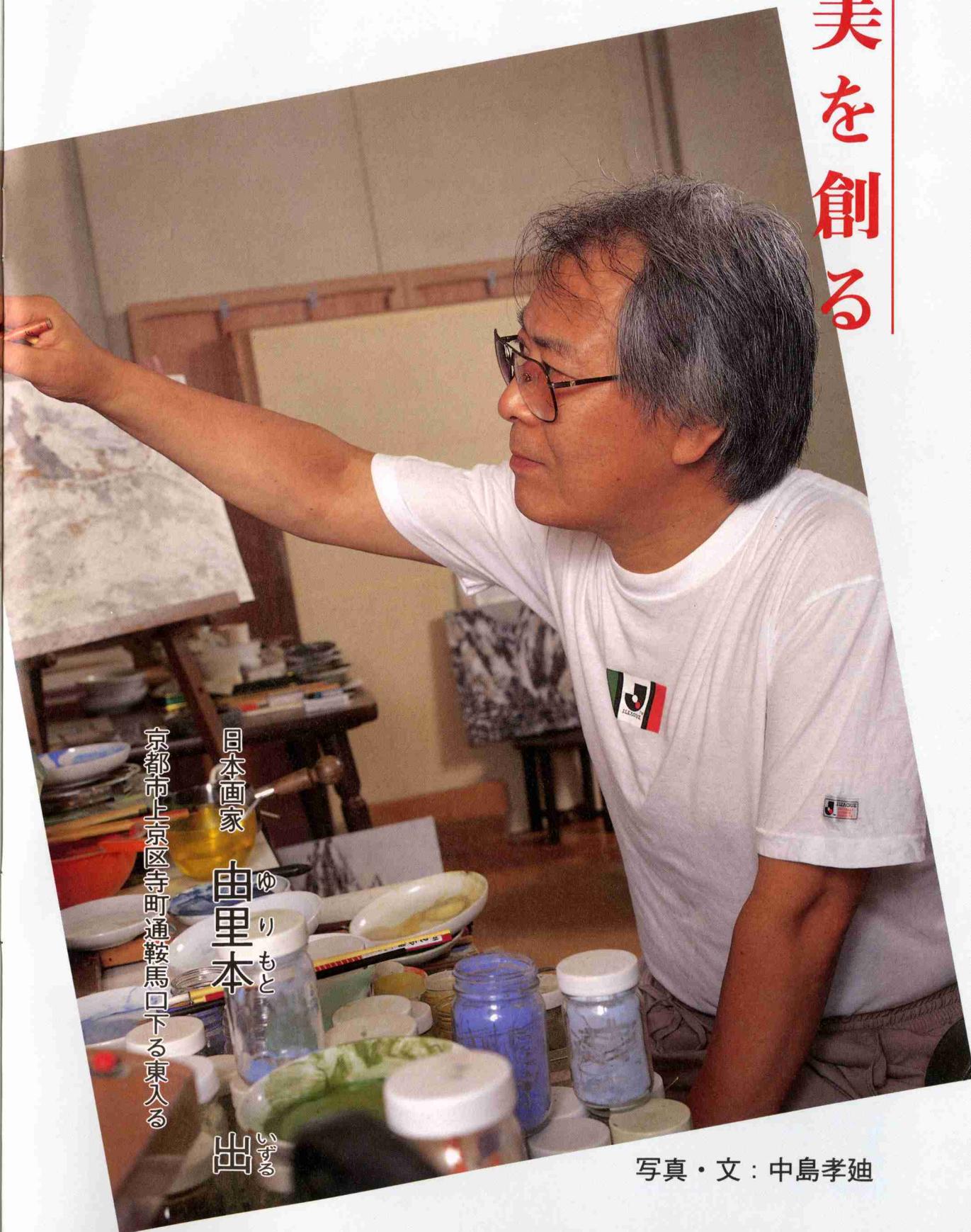
上京区民文化つどい

留学生と上京区民のシンポジウム

春の上京茶会

VOL. 11 1996

美を創る



京都市上京区寺町通鞍馬口下る東入る

日本画家  
由里本  
ゆりもと

出  
いする

写真・文：中島孝廸

絵画の歴史は遠く太古にまで遡る。それは、発掘された墳墓や洞窟の壁画に見るごとく、元来生活の記録であり、生活空間を彩る装饰であった。

奈良時代、大陸から仏教とともに伝來した文化は、我が国に多くの藝術をもたらせた。絵画もまたその一つであった。最初それは仏教的な要素を色濃く漂わせた異国的なものであったが、時代を経るに従つて、やがて日本人的感覺が表出され、大和絵の誕生へとなり、日本画という我が国独自のジャンルを生み出したのである。



第26回日展（1994） 連山・冬



第31回日春展（1996） 白 虹

由里本先生は、昭和十四年、京都市で生まれられた。

由里本家は、明治の初め丹後から京都に移り住み、代々絹製品を手広く商つておられた。先生のお祖父様の時代、金襤や絵絹を数多く扱われた関係から、日本画家との親交が厚く、そうしたことから

先生の母親・景子さんが西山翠嶂に師事され日本画の道に進まれた。血は争えないものである。こうした環境で幼年期を送られた先生は、絵筆を持つことに最大の喜びを感じられた。小、中学校時代は、先生の絵がかならず掲示板を飾つたと聞く。やがて、金沢美術工芸

大学日本画科を卒業された先生は、

先輩の薦めもあって「東丘社」に入塾。堂本印象に師事され、日本画家としての道を歩み出された。

昭和四十七年、六十三年と、日本展において特選を受賞された先生は、その後、京都画壇において目覚ましい活躍をされ、今日、「東丘社」の幹部として後進の指導は言うに及ばず、ご自身の制作にも益々磨きを掛けておられる。

上京区には数少ない日本画家の一人として、今後、益々のご精進を期待して止まない。

# 上京の史蹟

その十一

## 上京の歴史的推移

### 都市交通網の発達（明治その四）

明治維新と共に新政府が採った政策は、富国強兵策でした。即ち、国を豊かにし、人材を育成し、海外から近代産業を取り入れることが最も重要な結果、西洋文明の流入が一段と加速し、

### チンチン電車

琵琶湖からの用水確保と水上運輸を目的とした琵琶湖疏水の建設が進む中、この疏水工事の総指揮を執った田辺朔郎と府会議員・高木文平は、府会の使命を帯びてアメリカへと、視察旅行に旅立ちます。ホリヨークで水利動力配

明治三年（一八七〇）には、東海道線の鉄道敷設工事をイギリスからの資本と技術を導入して開始するに至ったのです。明治五年（一八七二）、東京新橋から横浜の間に開通した日本最初の蒸気機関車道は、その後、次第に西へ伸び、明治二十二年（一八八九）、ついに東京と神戸を結ぶ東海道線として、全線が開通します。

国有という形で日本に上陸した鉄道

琵琶湖からの用水確保と水上運輸を目的とした琵琶湖疏水の建設が進む中、この疏水工事の総指揮を執った田辺朔郎と府会議員・高木文平は、府会の使命を帯びてアメリカへと、視察旅行に旅立ちます。ホリヨークで水利動力配

明治二十三年（一八九〇）、琵琶湖疏水の完成と共に都市電力としては世界第二番目の水力発電設備を持つた京都は、いよいよ近代産業都市として生まれ変わるとします。丁度時を同じくして、東京や愛知、大阪、奈良などで市街電車を走らす計画がブームとなり、電気鉄道敷設の出願が相次きます。

明治二十三年（一八九〇）、琵琶湖疏水の完成と共に都市電力としては世界第二番目の水力発電設備を持つた京都は、いよいよ近代産業都市として生まれ変わるとします。丁度時を同じくして、東京や愛知、大阪、奈良などで市街電車を走らす計画がブームとなり、電気鉄道敷設の出願が相次きます。

千百年記念祭をひかえ、これを成功に導くためと、なおその上、東京遷都によつて沈滞した街を復興するため、とくに市街電車の実現を要望したのです。前述の如く、東海道線が既に東京から神戸まで通じていたとはいえ、「岡

蒸気」と呼ばれた鉄道の運賃は極めて高価で、一部上層階級に利用されるに止まり、とても庶民が利用できるものではなかつたのです。庶民の乗り物としては、まだまだ船舶に頼っていた時代でもありました。特に、京都、大阪間は淀川汽船の運行による便が大勢を占めていたようで、人間や物資のほとんどはこの淀川汽船によつて大阪・八

軒屋から伏見・京橋へと運ばれてきました。伏見からは、物資を運搬する高

電気鉄道事業発祥地の碑

塩小路通東洞院角（ルネッサンスビル北東角）



内への輸送手段であったようす。

平安遷都千百年祭を三年後にひかえ、第五回内国勧業博覧会の誘致に成功した京都は、明治二十五年（一八九二）、電気鉄道事業の申請を政府に提出しました。しかし、「文明開化」が日常語として使われていた当時とはいえ、鉄道とは蒸気機関車のことで、「電気鉄道」、特に市街電車に関する規定がなく、これを受けた政府はその処理にあわてふためいたといわれています。当時の市街交通事業といえば、明治十五年（一八八二）に新橋・日本橋間に運行された東京馬車鉄道があつただけで、これが国内での唯一の都市大量交通機関であったのです。とはいっても、これも



明治27年5月2日付 特許状  
(京都市交通局蔵)

二十五人前後の乗客が乗る客車を二頭の馬で引くお粗末なものでありました。そのため、通信省に出された申請は、

十万円で設立され、初代社長に高木文平が、役員には大澤善助、濱岡光哲などが就任、社屋も一条通室町東入るに設置されます。しかし、博覧会場への集客手段といへば企業として市街電車を運行す

る条件を満たすことは出来ません。より長期的な展望を考慮に入れ、安定且つ充分な交通需要が必須条件となります。この点で京都は、在住人口のほか、観光や信仰のためによる入洛者が多く、乗客確保には好条件を備えていたといえましょう。また一方、市街電車が有効な市民の足となるためには、広範囲にわたる敷道が必要となります。この

ことで、平安遷都千百年祭を迎える全般的準備が整い、かつての首都としての繁栄を再び取り戻すべき素地が出来上がったのです。機を見るに敏な高木文平は、先ず、博覧会場である岡崎へ見物客を運ぶ足として軌道の敷設を計画します。

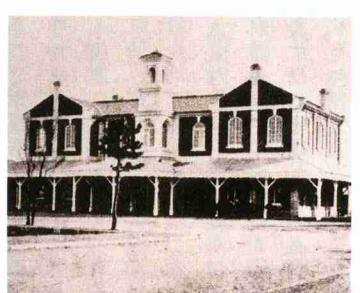
明治二十七年（一八九四）二月一日、「京都電気鉄道株式会社」が資本金三十万円で設立され、初代社長に高木文平が、役員には大澤善助、濱岡光哲などが就任、社屋も一条通室町東入るに設置されます。しかし、博覧会場への集客手段といへば企業として市街電車を運行す

る条件を満たすことは出来ません。より長期的な展望を考慮に入れ、安定且つ充分な交通需要が必須条件となります。この点で京都は、在住人口のほか、観光や信仰のためによる入洛者が多く、乗客確保には好条件を備えていたといえましょう。また一方、市街電車が有効な市民の足となるためには、広範囲にわたる敷道が必要となります。この

よいよ車体の製作や軌道の設置が急ピッチで開始されました。車体については、米国のG・E社から十五馬力のモーター六台分を、また、車台はデッカー社から同数を購入、車体は国産品として東京芝の三吉製作所に注文しています。軌道は、第一期工事として、伏見町油掛通から七条ステーションまでの六・七キロメートルに決定します。

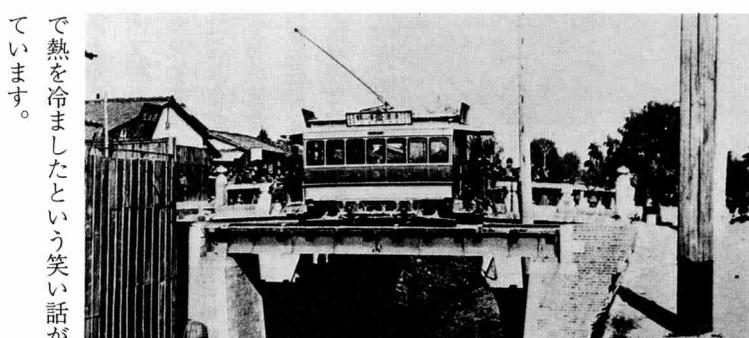
明治二十八年（一八九五）一月一日、電車が走り出しました。当日は雨にも拘らず、乗客は長蛇の列を作り、二台の電車が伏見・京都間を四往復します。沿道の各家々には国旗がはためき、また、電車なるものを一目見ようとする多くの市民が詰めかけたといわれます。伏見線の料金は、一区間一銭、全線で六銭、その上、淀川汽船との連絡券もあり、京都七条ステーションから大阪・八軒屋までが十三銭でした。当時の京都、伏見間の人力車の料金が十一銭で、帰り車だと八銭位だといわれています。だから、電車のほうが幾分安かつたようです。

同年四月一日、時あたかも日清戦争の講和条約が締結された日、内国勧業博覧会が岡崎において華々しく開会され、木屋町線もまた開通します。この



明治初期の京都駅（初代）  
京都市交通局刊「さよなら京都市電」より掲載

線は、七条ステーションから七条通りを東に走り、内浜から高瀬川に沿って北上、木屋町二条で右折し、冷泉通りから疏水に沿って博覧会場の慶流橋を経由、南禅寺前、蹴上に至る、博覧会場行の路線であります。開業初日の乗客は、実に二千三百七十人に達したといわれますから、電車に対する人々の関心度がいかに高かったが伺い知れます。電車のスピードは、僅かに時速九・六キロ程度ですから駆け足くらいの早さでした。それも、蹴上の発電所から送られる電力事情により、六キロ程度に落ちることがありました。しかし、全長六・六メートル、幅は一・九八メートル、定員は二十八名で客席にはビローードが張られ、車窓は片側に七面、車内には五個の電灯が取り付けられていました。當時、鉄道でもランプを用いた。一般家庭の電灯もほとんど普及していませんでした時代だけに、白色に輝く車内に豪華さに人々の驚きはひとしおだつたと思われます。ただ、運転台だけはむき出しでガラスもなく、雨の日や木枯らしの吹く冬などは運転手泣かせだったといわれます。またこの電車には十五馬力のモーターが一基しか付いていませんでしたので、オーバーヒートに悩まされ、真夏などは作業員が团扇で扇いだ。因みに、停車は一回、ポールが外



明治34年頃 堀川中立売の鉄橋を渡る

で熱を冷ましたという笑い話が伝わっています。

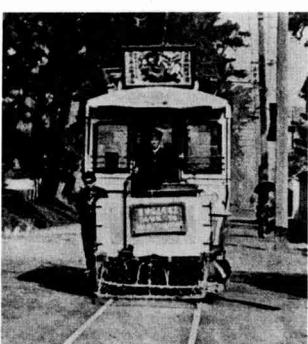
「運転手」という呼び名もこの京電によって生まれました。当時の鉄道は、機関手と車長、鉄道馬車は駕者と車掌、さて電車はとなると、なかなかいい呼び名が浮んで来ない、散々考えた揚げ句、運転手という名に落ち着いたようです。「チンチン電車」という愛称は、車掌が発車の合図に鈴を二回鳴らして運転手に知らせたことから採られました。因みに、停車は一回、ポールが外

れたときには三回、美人が歩いているときには四回という笑い話もあります。当時、電車が走行するためには、両側に家がある場合、七・三メートルの道幅が必要でした。片側だけなら五・五メートルで事足りた関係上、初期の路線は川べりに沿って運行されたのです。これには当然用地買収の問題も大きく絡んでいます。

人気者のチンチン電車にも休日があり人々をガッカリさせます。毎月一日と十五日は疏水の水藻を刈る日で、これがストップしました。ところが、当時の日は水止めが行われる関係上、送電貴重な休日で、店の旦那衆を始め、職人や奉公人に今までが休暇を取る日に当たっていました。折角の休日を電車に乗って出掛けようとする市民から怒りの声が巻き起きました。その上、発電機械の故障や天候の悪化などによる通水停止がしばしばあり、その都度、チンチン電車は臨時休業。これではさすがに営業に響くとあって、明治三十一年（一八九八）二月、「臨時二営業ヲ休止セサル可ラサルノ不幸ニ遭遇シ

書を提出します。行政もこの申請はやむを得ないと判断したのでしょうか。認可がおり、明治三十二年（一八九九）、東九条に出力七十五キロワットの火力発電所が建設されました。そして四年後、京電は、蹴上発電所からの電力購入を打ち切っています。

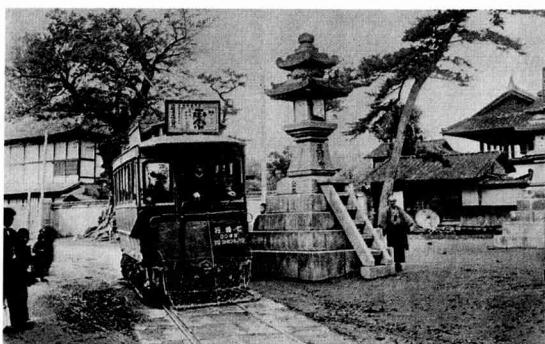
明治二十八年は、平安遷都千百年記念祭で京都の街は沸き返りました。岡崎における第四回国勧業博覧会には、会期中実に百十三万人もの観客が訪れていました。この好機を逃がしてはとばかり、京電もまた、路線の延長に拍車をかけました。同年七月十七日には、木屋町二条から二条通りを西進し、寺町通りを北行、丸太町に至る線が開通。翌八月二十四日には、寺町丸太町から丸太町を西行、烏丸から下立売を西へ府庁の前に至る路線が開業します。九月にはその線が延長され、堀川中立売へと伸びました。



寺町通を丸太町通へ向う  
(寺町荒神口付近)

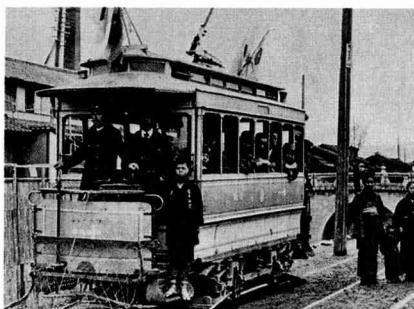
最初は物珍しい京電に市民も遠巻きに関心を示していましたが、そのうち慣れるに従い心配されていた事故が起きたようになりました。明治二十八年十一月十九日、深草竹田街道の踏切において、京電と奈良鉄道会社の上り列車が衝突事故を起こし、大惨事となりました。

二十一日の「日出新聞」には「昨日午後五時五十分ごろ、紀伊郡堀川中立売付近 前のステップに“電車告知人”（先走り）の少年が乗っている」とありました。二十二日の「日出新聞」には「車夫の嫌がらせ」といった噂が流れました。この告知人とは、一般に「先走り」と呼ばれた少年で、通常は告知人の半纏を着て運転席に乗り、人通りの多いところやカーブにさしかかると飛び降り、電車の前を「あぶのおっせ、退いてくりやつしゃ、電車がさまっせ」と叫びながら赤い小旗を振って走りました。また、夜は提灯を持ってほとんど全線を走ったのです。こうした過酷な重労働の上、怪我をすることが多かつたため、いたいけな少年を危険な仕事を从事することは何事か、と市民に轟震（ひんしん）を買い、数年で姿を消しています。また、人力車夫とのトラブルが絶えなかつたようです。



北野天満宮から七条駅へ向う  
チンチン電車（七本松付近）

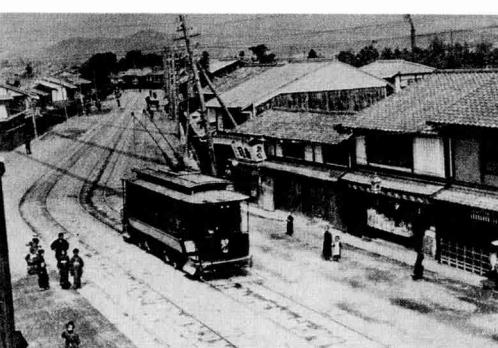
京都電気鉄道会社の第六号電車と奈良鉄道会社の上り列車が衝突し、電車の乗客に即死三人、重傷四人、軽傷十余人を生じたり……』と、大きく報道されています。この事故を契機として、京都府は電気鉄道取締り条例を公布、「電車二ハ車掌、運転手、及ヒ告知人ヲ、線路ニハ信号人ヲ備フヘシ」と、



堀川中立売付近 前のステップに“電車告知人”（先走り）の少年が乗っている

義務付けたのです。

この告知人とは、一般に「先走り」と呼ばれた少年で、通常は告知人の半纏を着て運転席に乗り、人通りの多いところやカーブにさしかかると飛び降り、電車の前を「あぶのおっせ、退いてくりやつしゃ、電車がさまっせ」と叫びながら赤い小旗を振って走りました。また、夜は提灯を持ってほとんど全線を走ったのです。こうした過酷な重労働の上、怪我をすることが多かつたため、いたいけな少年を危険な仕事を从事することは何事か、と市民に轟震（ひんしん）を買い、数年で姿を消しています。また、人力車夫とのトラブルが絶えなかつたようです。



大正初期の市電今出川線（衣棚今出川付近）

京電は堀川中立売から北野までが延長され、北野線として営業を開始します。これは、明治三十五年（一九〇二）に北野天満宮で催される千年祭の大萬燈会を見込んでのものであったようです。先に第四回内国勧業博覧会で思惑通りの成績を収めた京電は、夢よ再びと、この「千年祭」に力を注ぎます。そのためか、「一等車」なる電車を走らすのですが、これはどうも大失敗に終わるようでした。この一等車は、車体の塗りも美しく、車窓には唐草模様のステンドグラスを嵌め込み、床には真っ赤の絨毯を敷き、車内に十個の電灯を灯しました豪華なものでありました。従つて料金は普通車の倍額でありましたが、期待とは裏腹に、乗客が少なかつたため、結局、五割増しの料金に値下げをしたようです。この車輌は四輪製作されたにも拘らず、明治三十七年（一九〇四）の夏、下京区東洞院七条にあつた本社車庫が火災に遭った際、普通車

二十一輛と共に二輛が焼け、大損失を受けっています。時まさに日露戦争の真っ直中、戦時経済による不況の嵐が吹き荒れ、一般民衆は重税に喘いでいました。ともあれ、この明治期、全国に先駆け京都の街を電車が走ったことによつて、その沿線周辺は賑わいを呈するようになつたのです。特に上京区においては、北野天満宮を中心とした中立売通、千本通、大宮通、といった西陣界隈が面目を一新したのはいうまでもありません。千本通や大宮通には大小の芝居小屋が建ち、天満宮の祭礼と相俟つて西陣の娯楽の中心地として発展したのです。

## 文化講演会



イラストレーター・絵本作家  
**永田 茗**



# 夢を描く

私は兵庫県の加西市の出身で、京都に住んで二十九年になります。成安女子短期大学に入学して、相国寺門前の下宿屋さんで一年間勉強しました。卒業後、鞍馬口から光琳社へデザイナーの卵として通いました。その後、フリーのデザイナーなどをしていましたが、私が絵かきになつたのは、幼稚園の頃

毎日の仕事をしている中で、いつも、ちひろさんことを考えてきました。こんな時、ちひろさんはどうされたただろう、これはどういう気持で描かれたのだろうということがわかるのです。それが一番強く胸に響きましたが、今から十二年前の七月七日に男の子の母親になつたという実感とともに、これからは自分一人の時間じゃないと思いました。それまでは好きなこと、絵を描くことだけに夢中で時間を費やしてきたのですが、これからは小っちゃな命を守らなければならぬという大切な仕事を神様から今申しつかたという気持ちがしました。

母親になつて三ヵ月ほどして、ちひ

て一から出発しました。毎日の仕事をしている中で、いつも、ちひろさんを描いていらつしやるのに、なぜ亡くなつたという新聞記事を見たショックからです。毎日の楽しさや忙しさに追われて自分の夢に向かう何の努力もしていなかつたということに気がつきました。大好きな方が亡くなつたということと同時に、永遠にその方に自分の思いを伝えることができなくつたという大きな悲しみとなりました。その日、絵かきになる決心をし、仕事を整理して二十六歳の春に、絵かきとして一から出発しました。

ちよつと前までは一日に二枚ぐらい描いていた頃もあつたのですが、少しずつ視力が劣えたり、根気が続かなくなったりする分、逆にゆっくり物事を考えることができるようです。大人になると生きていることは樂になるかと思つていたのですが、どうもそうではなくて、年を重ねて行くほど物想いも深くなり、私は絵を描くことで自分自身が慰められていることに気付くのです。頭の中に持つてゐるイメージを、現実に白紙の上に浮かび上がってくるプロセスを描くという作業を通して私自身が一番最初に絵を見るわけです。それが最近、ああいう絵を描くことで慰められていた私は、逆にまた

からあこがれつづけていた“いわさきちひろさん”が五十五歳で癌のために亡くなつたという新聞記事を見たショックからです。毎日の楽しさや忙しさに追われて自分の夢に向かう何の努力もしていなかつたということに気がつきました。大好きな方が亡くなつたということと同時に、永遠にその方に自分の思いを伝えることができなくつたという大きな悲しみとなりました。その日、絵かきになる決心をし、仕事を整理して二十六歳の春に、絵かきとして一から出発しました。

ちよつと前までは一日に二枚ぐらい描いていた頃もあつたのですが、少しずつ視力が劣えたり、根気が続かなくなったりする分、逆にゆっくり物事を考えることができるようです。大人になると生きていることは樂になるかと思つていたのですが、どうもそうではなくて、年を重ねて行くほど物想いも深くなり、私は絵を描くことで自分自身が慰められていることに気付くのです。頭の中に持つてゐるイメージを、現実に白紙の上に浮かび上がってくるプロセスを描くという作業を通して私自身が一番最初に絵を見るわけです。それが最近、ああいう絵を描くことで慰められていた私は、逆にまた

花にまつわるエピソード…  
季節も添えて演出します。

FLOWER OFFICE  
**花工房**

全国どこへでもお花をお届けいたします。  
京都市上京区烏丸通今出川下ル TEL 602  
TEL 075-414-8700 (代) FAX 075-414-7787

菓匠 本家玉寿軒

〒602 京都市上京区今出川大宮東入  
TEL (075) 441-0319  
(075) 414-0319

ジを注ぎこむことによって、この絵を見てくれる人たちを慰めることができるんだろうということだが、二十年経つてようやく気がつきました。年をとるということは女性にとっては、こわいこと、悲しいこと、何かを失うことというふうに思いがちなのですが、絵を描くという作業を通して見る限りでは自分自身、年をとったことを、とても嬉しいと思っています。以前にはできなかつたこと、以前には感じなかつた表現ができること、これは時間を重ねてきたことのお蔭ではないかというふうに思います。ずっと変わらぬ絵を描いていますから、どの辺が変わっているのかといわれるかもしれません、今までだと誠意ある絵という表現をしました。誠意ある絵というのは具体的には、一生懸命に描いてある絵とか時間をかけてある絵とか、細かいところまで描き込んである絵とか、絵かきとしても長い時間をかけて一生懸命描いていますから誠意もこめられているのですが、だからいい絵とは限らないのです。それこそ、ちひろさんが描いている絵は、一見あつという間に描かれているように見えますが、デッサンを見せていただきますと何枚も何枚も描いてあるのです。何枚も下絵を積み重ねた上での一気にこれしかないという線を引かれているのです。だから目に見える部分でないところに、沢山の積み重ねがあるわけです。ところが未熟な絵かきは、見えるところに一生懸命それを見せようとするのです。私の展覧会場でも、よく描いているなあという絵があるのですが、考えてみると、それはよく描いているなあというだけで終わってしまって、そういう絵の方に沢山の方が足を止めてくださっているのを見たりしています。

一生懸命だけがいい絵じゃないといふことに気がついてきました。ではこれからどうするか、やっぱり現実の生活と絵を描く間のギャップをなくすといふこと



うこと、これが本当の意味で絵かきとして誠実に絵に向かうことではないかと思います。

私は今、上京区に近い京都御所の堺町御門の一筋南に住んでいますが、大好きな京都に住みつづけたことは、ある意味では大きな天のはからいといいますか、四十台半ばを過ぎて、そのころに気がつくまで京都にいなさいと、どこか天の高いところから、どなたかがおっしゃった結果じやないかなあと思います。不便だから東京へ来なさいとよくいわれるので、それでも京都にいて京都で絵を描いているということが、東京で忙しく仕事をしている人とは、ちょっと違うものがあるのかかもしれません。私という絵かきは、この町で生まれて育つきました。おそらく、これから先も京都を離れずに絵を描いて行くことだと思います。この町で暮らすということが、絵との隙間を少しずつ埋めて行ってくれることを本当に嬉しく思っています。今、自然に、自由に呼吸しながら絵を描けていく自分が幸せだと思っています。

八月二十一日に、京都ガーデンパレスで行われた上京区文化振興会の講演会の一部を要約いたしました。

外科・胃腸科・小児科・整形外科  
肛門科・小児外科・泌尿器科・放射線科  
**吉岡病院**

診療時間 午前9時～午後12時半、午後6時～午後8時  
土曜 午前9時～午後12時  
日曜、祝日、土曜午後 休診  
〒602 京都市上京区浄福寺通今出川下る  
☎(075) 451-0164

銘菓 山菜煎餅  
株式会社 雅苑®  
TEL (075) 461-2644 (代表)  
FAX (075) 464-9353

## 上京区民

### 文化のつどい

# 日本に居れば日本にしたがい

版画家 クリフトン・カーフ



二月二十九日に「上京区民文化のつどい」(上京区地域女性連合会主管)が、ワインディングス京都で開催されました。第一部の講演では、上京区在住で版画家のクリフトン・カーフさんが、和服姿で登壇し、「日本に居れば日本にしたがい」というテーマで、在日四十一年の体験や日本への熱い思いを語られました。

× × × ×  
僕は双子だが、親は個性に従い別々の服を着せた。父は絵が好きで油絵を描いた。僕は十二歳で絵を描く決心をして美術学校へ行つた。昭和二十二年に佐世保へ着いた時の日本の第一印象は、段々畑、瓦や藁葺の屋根。日本は色彩がきれいだ。海もきれいだった。岐阜へ行き魚釣りで生活しながら英語を教え、絵の勉強をした。服部さんといふ絵描さんの応援で個展を開いた。展覧会は大成功で、絵は三分の一が売れた。そこで日本のこと勉強しようとして墨絵を始めた。材料を揃えるのに骨董屋さんへ行き、端渓の硯を買つた。七千円を払うのに六ヶ月かかった。こうして骨董屋さん通りをして、いろ

した。そのお話はユーモアを交えた流暢な日本語で「明治六十一年生まれ、五尺七寸八分、二十二貫、足袋の大きさは十一文半、生まれた時はウサギ年、イヌ月、ネズミ時間」と語り始められ、以下のような日本人にとって考えさせられる問題を指摘されました。

いろいろ集めた。伊万里も集めた。これは今家庭で使つてている。

京都に来て英語を教えるながら個展を開いた。本郷先生に臘纈染を習つた。

この時、先生に着物や袴を貰つたのがきっかけで、ほつぼつ自分で着物を揃え、毎日着るようになつた。袷は春には暑いので単衣にし、夏は麻の着物を買った。こうして一年中、着物ばかり着るようになつた。日本的人は着物を着るのは結婚式、お茶会、葬式の時ばかりだ。私は心から着物がいいと思つて着ている。着物がもつと売れるようになるには、着物を売つているところが着なければならない。着物は女性の美しさが出てくる。

つまらない。日本の家は古いものを捨てて新しい素材のものを買つてている。

これは長もちしない。昔はお父さんは床の間に坐つていたが、今は逆にテレビの前に坐る。家庭のつながりがなくなった。家の中の会話がなくなつた。

今、大きいスペースに小さい部屋を作つている。家を大きくすると落ち着いていいのに。昔のことわざ「家に鼠あり。町に盗人あり。東京に政治家あり。」みんな一寸あやしい、眞面目にすればいいということ。

日本的心が大事、もう一度本物の心がほしい。着物、建物も本物がほしい。古いか新しいか、自分に合うように日本的心をもう一度考えてみよう。

冷や酒と親の意見はあした利く。



## 留学生と上京区民のシンポジウム

梅雨も半ばの六月二十二日、今年度ふれあい事業の一つとして、「留学生と上京区民のシンポジウム」が、河村能舞台（烏丸上立売）で開かれました。

シンポジウムでは、司会進行役に留学生のお世話をされておられる正藤廣三

京都市国際交流協会事業課専門委員を、また地元上京を代表して、西陣の日下部栄介手織技術振興財団「織成館」館長を招き、『聞いてみたいな～お国柄社会性とお国柄・若者達の視～ここが同じ、ここが違う』というテーマにそつ

て、身近なアジアの留学生と上京区民がお互いの生活習慣を学び、理解を深め合いました。

パネリストとして参加した国は、ミャンマー・インドネシア・大韓民国・中華人民共和国の四ヶ国で、日本も含め、それぞれのお国柄・女性の地位・教育等について語り合い、その相違と魅力に迫りました。

ミャンマーには日本でいう姓（家名）がなく、留学生のカインさんの名前も、ナンとミヤとケーとカインの4つの名前からなっています。

社会全般で見れば母系社会といえ、姓が変わることはないのですが、結婚すれば大体は男性の方が女性の家族とともに暮らします。

働く女性が増え、女性の社会進出が進み、男女平等になってきていて、職場では男性でも進んでお茶をいれたりしてくれます。



ミャンマー連邦  
ナン・ミヤ・ケー・カイン  
在日6年 立命館大学  
国際関係研究科在学

しかし、『ビルマの豊饒』の舞台となつたミャンマーは古くからの仏教国で、お坊様は特にありがたく、お坊様より高い所に立つてはいけないと考えれる人もいます。宗教上、男女区別がしっかりしていて、例えば、紳士服と婦人の仏塔バゴダでは男女で入れる限界が決められていて、积迦の遺品のある所には男性しか立ち入りが許されない等、宗教面では男性優位思考といえます。

このように社会的思考と宗教的思考が混在しているところがミャンマーの面白さではないでしょうか。

## 聞いてみたいならお国柄

留学生と上京区民のシンポジウム



コーディネーター 正藤廣三

# 聞いてみたいなうお国柄

## 留学生と上京区民のシンポジウム

### インドネシア共和国



インドラ・アディウイジャヤ

在日7年 京都大学工学部  
化学工学科在学

まず、人口約二億人と世界第五位の  
インドネシアは、一万以上の諸島から  
なる特殊な多民族国家で、公用語とし  
ては、インドネシア語が使われていま  
すが、他に百以上の民族語があり、学  
校で各民族語教育が行われています。

宗教も五宗教と多種で、七十%の支  
持率を持つイスラム教をはじめ、キリ  
スト教・仏教・ヒンドゥー教・プロテ  
スターント（キリスト教の一派）があり、  
國民は、このうちどれか一つを選択し  
て信仰しなくてはいけません。

インドネシアでは、教育面でも、社  
会面でも生活はすべて宗教を中心に動  
き、異なる宗派と共に存する中で、敵  
対意識ではなく譲り合い、相手を思い

やる心を培うため、幼稚園から大学まで宗教教育のための授業があります。

同様六・三・三・（四）の義務教育制度を採用していますが、学校の始業時間は一風変わっていて、アメリカのサマータイム（一部分で夏期のみ）のように早朝六時半くらいから始まり、お昼過ぎ一時か二時には子供達は学校から解放され、クラブ活動等日々沈むまで自由に遊びます。

大体の一般家庭の教育方針として「子供は子供らしく遊ぶ」という観念があるらしく、ゆっくり時間が流れ、子供達はみんなのびのび育ちます。

### 大韓民国



ジョン・テウ（尹泰宇）

在日4年半 京都大学工学部  
環境地球学科在学

韓国はあらゆる点で昔から日本と深いつつながりのある国です。

まず、韓国では特に、「王と先生と父は一つである」と教えられ、そういう

う目上の人達の前では言葉遣いに気をつけることはもちろん、煙草も酒もいけないといいます。お酒を勧められた時でも、一度目は遠慮し、二、三度勧められたら少しだけいただきます。そのような厳しい習慣が守られてきました。

夫婦で日本に留学しているジョンさんは、「日本のドラマを見ていて思つて、近年、こうした心の問題や習慣を核家族化が進んでいることも影響して、日本がこれほど素晴らしい発展していることがあります。

のを見ると、「概には言えませんね。」と語りました。

ないかも知れませんが、日本は男性の方

が偉そうに女性に対し、「おいつ、お茶もつてこい。」なんて言つて、お札を言いませんよね。韓国もそうなんですね。やっぱり、お札は言つたほうがいいですね。」と話しました。

また結婚に関しては、女性が平均年

齢二十四、五歳で結婚し、男性は二年間の兵役義務があるので平均三十歳前後と少し遅くなります。韓国は夫婦別姓制ですが、子供のほとんどは父親方

の姓を継ぐので、時々、母親だけ家族のような家族でないような、そんな不思議な気持ちになることもあるそうですが、

このようなことが父系社会の特徴を現しています。

また、韓国の子供達は朝から晩までよく勉強しますが、悲しいことに、成績重視主義的でいじめもあり、年間平均二、三人の成績不良等により自殺があるそうです。

教育し伝えていく機会が少なくなってきている事実も日本とよく似ているといえます。

## 留学生と上京区民のシンポジウム

### 聞いてみたいなうお国柄

中国は男女平等で、職場でも昇格や給料など同じで、言葉遣いにも男女の差はありません。ですから、日本でよく女性に対して言われている“おいつ、おまえ、お茶”を聞いた時は気分を害したと、シャさんは言います。

夫婦共働きの家庭が多く、平等は平等でもやや女性が優位で、よく“中國人女性は幸せだ”と言われる理由は、中国人男性は食事の準備から洗濯から掃除まで何でも進んでしてくれるところにあるようです。

また、中国では随分前から男女別姓制で、子供が父方か母方どちらかの姓を選んで継ぐ形でしたが、現在も実施されている“一人っ子政策”での少子供が何か悪い事をしたとき、自分の子

中華人民共和国

シヤ・コウ（謝泓）  
在日4年  
京都教育大学教育学部  
現代社会学科在学



化に伴い、どちらかの姓を選ぶかが問題になつてきているのではないでしょうか。

中国と言えばウーロン茶を思い浮かべる人も少なくないかと思いますが、現地では緑茶がよく飲まれているようで、シャさんの「中国では緑茶を飲んでいました。日本に来てからウーロン茶を一回飲んでみましたが、どうしてもある苦い味には慣れられません。」という言葉には驚きます。

日本

下部 栄 介  
手織技術振興財団  
織成館館長



昔は大家族で、人間の生死のサイクルや衣食住のことを、身近にいる様々な世代から体験することができました。また、地域との密着性が大きく、子供が何か悪い事をしたとき、自分の子

まとめ——正藤廣三

近いようで遠い国、知っているようで知らない国——アジア。

“これからはアジアの時代”といわれ、世界が今、注目しています。

口先や見せ掛けではない心から真実

供でなくとも、注意する大人がいたり、近所付き合いなども今よりもっと盛んで、お互い助け合いフォローし合っていました。

しかし現在、日本でも核家族化が進み、こうした昔の良さがなくなりつづあります。



の平和のために、人間同士心を開いて助け合い、文化交流等を通して理解を深めていくことが必要なのではないかでしょう。そこから、民族を隔てる壁を越える力が生まれることを願います。

(上京地域女性連合会主管)

# ☆第六回上京区民ふれあいまつりは、十月二十六日に嘉楽中学校校庭で行われます。

平成八年春の「上京茶会」は、梅雨の晴れ間の六月二十三日に、大徳寺山内の芳春院で開かれました。日頃は拝観できない庭園だけに、例年を上廻る六百名を越す来客で賑わいました。



会記（本席・書院）主 不審庵

掛物 吸江斎筆一行 水流元入海  
花入 即中斎好方円籠 共箱

香合 頬草、矢筈芒

一閑作 白紙金敷シキテ

唐銅朝鮮風炉、即中斎花押鑄込真形釜

淨心作

而妙齋好日月風炉先屏風 在判  
水指 即中斎好万古焼青磁平

割蓋裏 葦水蒔絵 共箱

茶器 即中斎好トクサ蒔絵黒大棗  
共箱 一閑作

茶碗 旦入作 黒平 銘清瀧 惺齋箱

替 安南写 長の字 惺齋箱 妙全造

茶杓 碓々齋銘ねむり雀・ぬれ鷺二本  
入ノ内 ぬれ鷺 二条城内の松竹ヲ

以テ 同筒箱

建水 かめエフゴ 淨益作

蓋置 黄交趾宝尽シ六角 惺齋箱

永樂造

獨樂ツナギ銘々盆ニ

菓子 くずやき 嘘月製

茶珠の白 柳桜園詰

副席（方丈縁先） 主 三国操氏

夷川五色豆



豆 ま  
ま  
政 さ

本店／〒604 京都市中京区夷川通堺町東  
TEL.075(211)5211~3  
三条店／〒604 京都市中京区三条通河原町東  
TEL.075(255)0390

イタリアが好き！  
イタリア料理専門店

レストラン

フクムラ

河原町店 中・六角河原町東入 255-5733(水・休)  
四条店 中・富小路四条上ル 255-2060(火・休)  
(株)イタシヨク(イタリアワイン・食品輸入元)(小売歓迎)  
北・紫野大徳寺門前町 491-0900

# 上京クイズ

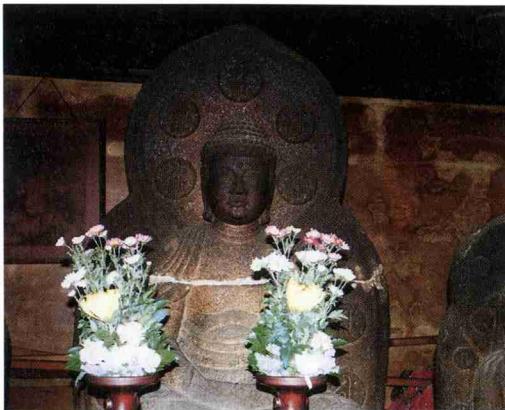
前回の正解は

## 石像寺の石造阿弥陀三尊像（千本上立売上ル）

釘抜の絵馬に囲まれた釘抜地蔵の背後にある小堂に安置されている阿弥陀三尊の中尊です。薄暗くて見にくいくらい

年四月十日に開眼供養がなされたという銘文が刻まれているところから重要文化財の指定を受けています。

ちなみに、元仁の改元は十一月二十日で、翌年四月二十日には嘉禄となっており、この五ヶ月間は大した歴史的事件もなく、この石仏が元仁という年号のあつた証人ともいえます。



読  
者の  
声

- 京の地に生まれ、永住の地ですのに史蹟を知らずに過ごしていました。今後の余暇を利用して、あちこち訪れたいたいと思います。（小川・京極富士子）
- 私学設立の節、先人の努力された話がよくわかりました。

（仁和・唐田 利二）



## これはどこでしよう？

○正解者の中から抽籤にて二十名の方に記念品をお送りします。

○締切 平成八年十一月一日

- 正解と住所・学区・氏名・電話番号を記入の上
- 〒六〇二 京都市上京区今出川通室町西入 上京区役所地域振興室「上京・史蹟と文化」宛にハガキでお送り下さい。また本誌の読後感もお書き下さい。

編 集 後 記

△今号では春から夏にかけて上京区の

団体が主催した講演会やシンポジウムに焦点を合わせました。永田崩さん、クリフトン・カーフさんは、ともに京都在住の世界的な画家と版画家であって、講演内容のすべてを掲載できませんでしたが、その語り口を生かした文章としました。

△なお、カーフさんは五月十四日に、市民憲章推進者として、上京区長表彰をお受けになりました。上京区の誇り

といえる方です。

永年の信用と実績・真心のこもったご奉仕

葬祭センター

京都 公益社

本 杜・京都市中京区烏丸通三条下ル ☎(075)221-4116代

北 公 益 社・京都市北区紫明通堀川東入 ☎(075)431-7121代  
中 公 益 社・京都市東山区五条通東大路東入 ☎(075)551-0042代

南 公 益 社・宇治市槇島町・文教短大前 ☎(0774)20-0042代

滋賀 公益 社・大津市朝日が丘1丁目 ☎(0775)23-0042代

プライトホール京都・京都市東山区五条通大和大路 ☎(075)551-5555代

槇 島 会 館・宇治市槇島町・文教短大前 ☎(0774)20-0142代

— 表紙写真・「建礼門」 撮影・中島孝迪 —

断ちきろう 身近な差別を 私から

「ヨキモノ」を創る

銘菓

京観世

登録商標



鶴屋吉信名菓撰  
(登録商標)



菓匠

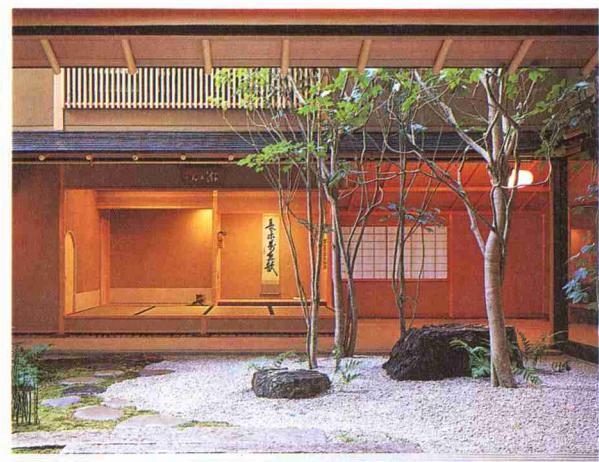


柚餅老舗  
鶴屋吉信

柚餅老舗

茶菓いろいろ  
お休み処・菓遊茶屋

本店二階にて営業いたしております  
(毎週水曜日は定休日でございます)



●本店内二階 茶室 游心